

# 高川小だより

令和4年(2022年)9月27日

発行者：校長 寺本 正行

## 9月29日は創立記念日

高川小HP  
はこちら→



昭和42年(1967年)9月29日に、豊中市議会で豊中市の第26番目の小学校として高川小学校の開校が決定されました。この日が高川小学校の創立記念日です。高川小学校は今年で55歳になります。

昭和43年(1968年)4月、校舎がまだ完成していなかったため、第1回入学式は豊南小学校で行われました。1学期は豊南小学校の校舎を借りていましたが、現在の北館が完成し、2学期からは1年生から3年生の児童272名と教職員14名で学校生活がスタートしました。1969年には南館、1970年には体育館と中庭、1971年にはプール(今の複合施設の場所にありました)、1975年には新館(東館)、1980年には北校舎と南校舎を結ぶ渡り廊下が完成して、施設が整いました。1980年には、児童数が歴代最高の1033名、学年5クラスのところもあるマンモス校になりました。その後、体育館改修、プール移転、耐震補強工事、空調設備交換なども行われ、今の姿になりました。

**校章** 昭和43年(1968年)5月15日に高川小学校の校章が定められました。

まわりの枠は、豊中市章です。中央は校名です。校名の左右のマークは、高川小学校の元気な明るい子どもたちがすくすくと育っていく様子と緑の木々が茂っていくことをあわせて表しています。『高川小学校の児童が、いつまでも健康で立派に成長してほしい』という願いが込められています。



豊中市章



高川小学校校章

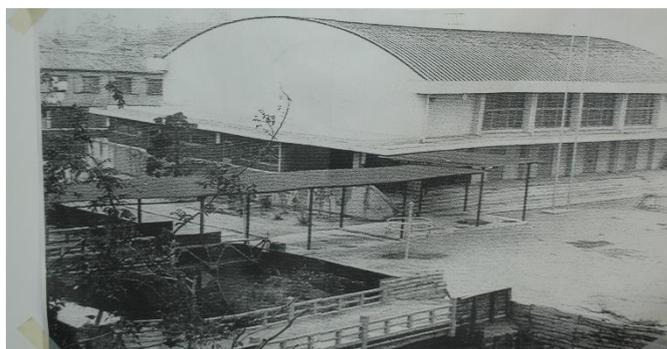
矢印のようなマークは、子どもたち・木々を表しています。

**校歌** 昭和58年(1983年)に制定されました。

作詞は船曳逸男さん(高川小学校第四代校長)、作曲は鎌谷静男さんです。

# 高川小学校の今昔～運動場に川があった

高川小ができた当時、運動場に川（用水路）がありました。下の写真を見ると、今の職員室あたりではないかと思えます。校舎から運動場や体育館に行くのに、川にかかっている「みどり橋」と「のぞみ橋」を通らなければなりません。また、川にボールが落ちると、拾うのが大変でとても困っていたそうです。育友会や地域の方が市へはたらきかけてくれたこともあり、昭和49年に川は埋め立てられました。



運動場の川

川は、運動場を南北に横切って学校の外にも続いていました。川を埋めたところが今の「緑道」になったそうです。南門のところに「高川小橋」がありますね。これは、川（用水路）が通っていたことや、橋があったことをいつまでも忘れないでいてほしいという願いで作られたそうです。



創立記念日ということで、高川小学校の歴史を少しだけ振り返ってみました。高川小学校は、保護者や地域の方の「少しでもいい環境で勉強してほしい」、「何か子どもたちのためにできることはないのか」という思いがいっぱいだった学校です。

中庭の池や大きな石、どっかり山、学校を取り囲む木々などは育友会と地域の方による手作りです。また、安全な通学路のため、歩道橋の建設にも関わっていただきました。環境面だけではありません。「高川まつり」、「合同作業」、「新春の取組み」などは、今も続けられている高川の伝統行事です。

毎日過ごす学校で、いつもは何気なく見ているものにも歴史があります。また紹介したいと思います。